

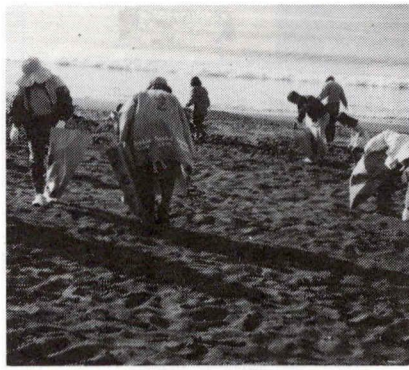


発行者 香川自治会広報委員会
印刷所 (有)スエカネ印刷

住みよい町、きれいな香川を

海岸や駅前、町内を清掃

美しい自然環境を守るために、五月三十一日(日)早朝、約六キロの海岸の清掃が、自治会や婦人会、子供会など、51団体、500人が参加して行われました。



海岸でゴミ拾集

香川でも環境整備や衛生委員、役員の方等20余名が参加。「クリンちがさき」に協力しました。午前六時から二時間余りで、13・5トンのごみを拾集しました。

六月十四日(日)には、自治会役員や子供会が一緒になって、駅前の清掃作業と、花壇の整備をしました。狭い駅の構内だけでも、たくさんの空き缶や、ガラスの破片、



町内を清掃

ゴミが捨てられていました。「住みよい町、きれいな香川」を目標に、今年度は、清掃と美化を目玉にして、役員たちは、がんばっています。また町内一斉清掃も随時行い、清潔な町づくりを努めましょう。

環境の眼で見る香川

今年もうつとうしい梅雨の時期になりました。日毎に増えて行く香川の人口と

年毎に様変わりする町、それについて行けない行政、下水工事で傷だらけの町も、月に一度の香川の顔である駅前の清掃をする時になりました。

六月十四日(日)、自治会役員の方々と、環境委員全員、子供会の人たちと、草むしりや空き缶、ゴミ拾いなどをして清掃しました。きれいになった所に草花を植えつけ、花壇の整備をし、みな気持ちの良い汗を流しました。お蔭で駅前も、見違える程に美

しくなり、道行く人も、気持ちよく眺めていることでしょう。一雨毎に元気になって行く花を眺めて、「いつまでも」と思う気持は、清掃にたずさわった人たちだけではないと思います。子供たちも、自分の植えた花が元気に大きくなるのを楽しみにしています。

周囲を汚さないようにしたいものです。落ちていた物を拾うよりも、一人一人が捨てないことが大事です。気をつけましょう、お互いに美しい町香川を目指して。(環境整備委員長 萩原敏男)

主張

香川自治会は四つの町内会が集合して形成されている。人口は一〇、〇〇〇人を超え、世帯は三、〇〇〇を上回る。(現在自治会加入世帯は約二、七〇〇)。そして四町内会の合計約七〇〇名の町内会役員から二四名の自治会役員が選出され、香川自治会の事業を協議し、すすめている。

一九九〇年(平成二年)一月、このマンモス自治会の活性化のために、各町内会を各自治会にする諮問が、前自治会長から規約改正委員会へなされた。その答申の結果は、「時期尚早」であった。その理由は、(要約)①与論の機が熟していない。

- ② 役員選出が困難である。
③ 仮に町内会が自治会になっても諮問の諸問題が解消されるとは考えられない。
④ 現会則の運用方法で、現状に十分対応できる。
⑤ 分割には消極的な答

自治会のダイエットを

申請であった。たしかに、会則の運用で現状に対応できる面もある。しかしなんといつても現実には、自治会役員

の意欲を失わせる障害が多すぎる。一行事でも、あちこちと神経を使い、いろいろな壁につき当たり、疲

上からでなく、健康上から見直すべきだと考えるからだ。例えば、①香川を茅ヶ崎市香川としての位置づけで検討する。(総合計画との関連)②区画整理や住宅建設などによる

- ③ 自治会活動の内容や方法を検討する。(各町内会がより独自性を持ち、協力しあう体制)
④ 分割の方法や合意の問題についてアンケートなどを実施する。
⑤ 自治会館の運営方法をどうするか。
⑥ 学校や学区との関係の検討。
⑦ 近隣自治会や諸団体との関係の検討など.....

香川には有能な人材が多い。再度、もっと幅広く、いろいろな角度から検討する委員会を作った場合、真の独立性を持つ執行部の編成は、困難であろう」というような香川であることが、恥ずかしいと思うからだ。(渥美隆次)

燃えるゴミの中に、ビンや缶、鉄くずなどが入っていませんか。燃えないゴミの中に、冷蔵庫や自転車のような大型ゴミを出していませんか。茅ヶ崎市でも、ビン、缶を別に集めて、資源の再利用を進める準備をしています。今のままでは、ゴミの行き場が無くなってしまう。ゴミを再

ゴミ、どう行く

ビン、缶収集活動へのご協力、ありがとうございます。今後定期的におこなって、少しでも綺麗な街にしたいものです。「混ぜればゴミ、分ければ資源」とよくいわれますが、毎日の生活の中で、ゴミの分け方、出し方が本当に、身についているでしょうか。

各町内会では、第一回役員会を開いて、問題点を話しあいました。ゴミの出し方や置き場所、防犯灯やカーブミラーの設置、下水排水の問題などは、共通していました。さっそく市に要望書を出し陳情しましたが、予算がなくて実現が困難のようです。踏み切りの問題で近く署名運動をしたいので、その時には協力をお願いします。

町内会役員会開く 要望を市に陳情

新鈴の神輿・剣劇で

諏訪神社の例大祭

諏訪神社の祭礼が、七月二十五日に行われます。

二十五日の宵宮祭では、カラオケ大会や舞踊会の人たちの演技が例年通り賑やかに行われます。

二十六日には、神輿の渡御があり、真新しい鈴をつけた神輿が、かけ声も勇ましく例年通りのコースを、ねり歩きます。

また夜は、沢村劇団による余興が行われ、寿三番叟がめでたく舞われた後、お笑い喜劇、マジック、

時代劇「清水次郎長伝」御油坂の決闘などが演じられます。

昔は一晩ではものたらず、青年団が現在の自治会長に相当する区長にお願いして、二晩歌舞伎芝居

スポーツ行事に参加を!

自治会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申しあげます。

スポーツ行事の企画から運営ま



町内を渡御する神輿

みこしの鈴を新調

最高の音に心もはずむ

五月三十一日(日)に、諏訪神社の協力を得て、神輿保存会と応援団体の人たちによって、新鈴の試しかつぎが行われました。

当日は前日の大雨が嘘のように上って、快晴になり、絶好の神輿日和でした。

午前十時の宮立ちを合図に、金ピカの鈴をつけた神輿が威勢よくかつがれ、約二時間のコースを高くらかに鈴を鳴り響かせて、町内の

方たちに、一足はやい祭り気分を味わってもらいました。

思えば諏訪神社に神輿を奉納して約十年が過ぎましたが、その間浜降祭を始め、諏訪神社の祭礼に何十回とかつがれてきました。

長い年月の間に鈴のいたみもひどくなり、最近では、かつぎ手の士気を高める上で一番必要な、鈴の音色も聞えなくなるまでになっていました。

をやったそうです。みなむしろや重箱をもって親族一同で出かけ、午前三時頃まで熱心に見物したとか。よき時代ののんびりした田舎芝居の様子が偲ばれますね。

祭典の浜降祭終わる

諏訪神社も参加

晩の祭典で知られる茅ヶ崎の浜降祭が、七月十五日の早朝に西浜海岸で行われ、三十三基の神輿が掛け声勇ましく砂浜をねり歩き、香川諏訪神社も参加しました。

で担当している香川地区体育振興会という団体があることを、皆様ご存知のことと思います。

近年、生活環境の変化に伴ない体力の減少やストレスが生じ、人間の生活や幸福の基盤である心身の健康や体力に、好ましくない影響が出ています。

そんな中で、われわれ神輿保存会と懇意にしている、甘沼神輿保存会の鈴の話が出て、「ひとつお願いして、鈴を借りてかついでみよう」との声があがり、保存会を中心に実施したところ、非常によい結果が出て、「そうそうに同じ鈴を作ろう」と意見がまとまり、自治会の役員会や神社役員にも相談して新調することになりました。費用は40万円かかりましたが、半額は保存会の会員で負担しました。そしてついに出来上がった鈴を



金ピカの鈴

健康の増進と人々との協調、親睦を図るためにも、スポーツ行事に積極的に参加することを希望します。

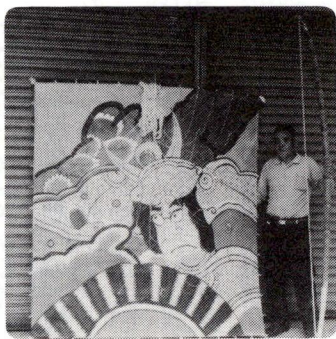
高く揚った時が最高の喜び

凧作り15年、名人 古宮さん

180㎡の大凧作りの名人、古宮守さんをお訪ねしました。

15年前、凧をあげたくて、三尺の凧を小和田で買ったら高く、その上揚がらなかったたので、ばかばかしく思って、自分で作ったのがきっかけのこと。

一番の苦労は骨作り。11月頃、秦野の親戚に行き、三千坪の竹藪の中で、太くて年数のたった、節の長い真竹のオスを探してくる。骨の幅と厚みに苦労する。絵はカ



凧と古宮さん

各町内会の代表選手として参加なさった皆様、たいへんご苦労様でした。またバレーボール大会、ウォークラリー大会、自治会主催の文化祭の一環としての行事のゲートボール大会、体力測定、体育大会などがあります。

特に体育大会の対抗種目の選手集めには、町内会によってほしいへんご苦労されていますので、皆様一度だまされたと思って、参加してみたいかがですか。とても楽しいですよ。

(体育委員長 坪田種男)

防犯灯設置きまる

防犯灯やカーブミラーの設置要望書が、自治会から市に提出されました。防犯灯は五箇所要望が出されましたが、予算の関係で、第三町内会の、元白雲閣の前だけ、設置がきまりました。

最近では交通量も増え、急カーブ

訃報

五月十六日以降七月一日までに次の方が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

酒井敏弥様 63才 6月2日

第二町内会 45組

折毛子三様 67才 6月16日

第二町内会 51-1組

福井邦男様 67才 6月19日
第二町内会 29-1組

交通安全に努めよう



先日、香川駅前で、小学生の交通安全指導が行われました。香川は道路が狭い上に、道幅が狭いので、危険な所がたくさんあります。その上生け垣や木の枝が道路にはみだして、道を狭めて見通しを悪くしています。余分な枝は切り交通安全に努めましょう。

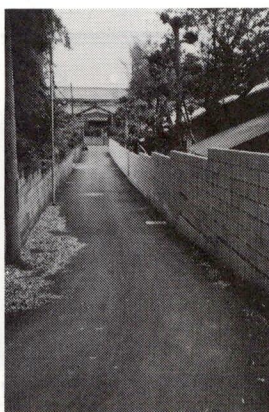
安全で、緑豊かな町づくりを

道幅を広げ、生け垣を奨励

この頃、増改築に伴って塀を下げて道幅を広げたり、危険なブロック塀を直したりするお宅が、目につきます。セツトバックというそうです。市広報でもくわしく説明され、助成金も出していますが、まだ目標の25%しか申請がないとか。そこで市の建築指導課、路政課でお話を伺いました。

【目的】
①狭い道路を四メートル以上に広げ、消防車、救急車などの出入りを便にする。
②地震による被害を少なくするため危険なブロック塀等を改修する。

【内容】
昭和61年から平成2年度は、狭い道路整備要綱による。建築主が狭い道路に接する敷地に建築確認を行う前に、この要綱に基づいて、後退用地を道路敷地として市に譲渡（売却か寄付）する事をお願いしている。買取価格は、この地域では一㎡二万五千元



セツトバックした道

駅周辺は山や雑木林

桑畑や麦畑、芋畑が点在

香川の昔はどんなだったか、よくご存知の方にお伺いしましたので、お訪ねした順番にご紹介いたします。先ず第一回は第三町内にお住居の熊澤賢三さん。明治37年7月31日生れ。88才。

——子供の頃の

駅周辺の様子は？
香川にはかなり高い山があちこちにあり、家の近くにも上の山（現在和田・沼上さん居住）や、吾妻山（現在青少年広場一帯の所）、元白雲閣一帯の山など、雑木林や竹やぶで、うっそうとしていて、夜は真暗でこわかった。ふくろうが鳴いたり、狐火をみたこともあった。子供の頃は相模線もなく、桑畑や麦畑、芋畑だった。養蚕が盛んだったので、桑畑があった。前の田圃で、どじょうやうなぎ、たにしをとったりした。夜になるとどじょうぶちといって、棒の先



昔の思い出を話す 熊澤賢三さん

にもりをつけ、松明を作ってバケツを持って出かけ、どじょうをつきさしてとった。

——近所の家は？
家といえば亀井宅（現在亀井隆義さん、亀井精一さん）、熊沢宅（現在熊沢チヨ子さん）、古谷鉄雄さん宅が並んでいるだけで、少し離れて出口宅（自治会館前の亀井

とする。塀を取り壊し、後退して造り直すまでを助成している。

平成2年度になつて、市がブロック塀等の調査をしたところ、市内の98%の塀が、建築安全基準に満たなかった。そこで、平成3年度から5年度は、生け垣を奨励し、ブロック塀などの、改修助成制度を打ち出した。工事費標準額の60%を助成する。

香川防災について

消防委員長 宮代 洋一

火災時には、初期消火が大火を防ぐポイントです。前号にも掲載された街頭消火器、又お宅にある家庭用消火器。いざという時にはこれらを十分活用して、初期消火に心掛けてください。

平成6年度から10年度は、工事費標準額の30%を助成する。平成11年度以降は、工事費標準額の15%を助成する。

電柱は東電へ依頼すると、ある程度まとまった時に埋めかえてくださるそうです。

いづれにせよ、建築基準法に基づき、町の防災のため、一考してみようではありませんか。

自治会組織の活用を

香川はマンモス自治会となったので運営に支障がおきています。皆様の要望が役員に伝わりにくくなってきたので、組織を細分化して活動が速やかに行われるようにすることが望まれています。

町内会活動の活性化には会員が活動の目的を知り、参画することです。自治会の組織をよく知り、問題点があれば役員と相談し、一日も早く問題の解決に当ることです。

会長さんから組長さんへ、組長さんから評議員さんや役員さんへと、会員の皆様が自治会、町内会の組織を活用してこそ、真の自治会、町内会活動ができるのです。自治会が行う行事には積極的に参加して、話し合いの場を多くもちたいものです。

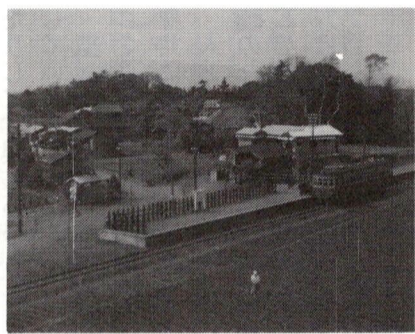
私たち役員も、会員の皆様と共に精いっぱい努力して参ります。皆様方のご理解と、ご協力を切にお願い申し上げます。

（第四町内会長 石嶋一男）

子供の頃の遊びは？

こま・めんこ・じゅく（地杭）、木をとがらして一本倒した方が勝ちという遊びだったから、樫とか樺のような堅い木を一生懸命けずって、何とか相手を負かそうと工夫して作った。凧上げ、竹馬、魚捕り。本校まで竹馬で行ったこともあるとか。

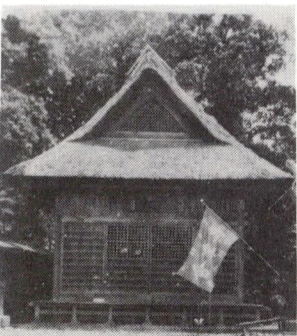
——お祭りは？
浜降祭は朝早く起きて見物に行った。諏訪神社の祭礼ではお神楽や歌舞伎芝居をやった。一晩では物足らず二晩続きをやった。厚木の市川柿之助とか座間の吉蔵とか役者を呼び「奉納芝居」とした。費用は会費として五十円出したが当時としては高かった。みんな芝居が好きだったから、花代も加えてまかなえた。他に現在の早川サイクル店や三橋幸次氏宅（隅屋）の庭などでも芝居をやった。諏訪神社は昭和三年に改築された。



昭和30年の香川駅附近 熊澤藤俊さん提供

亮治さん旧宅）があった。西側には練瓦工場があったが、まもなくなくなった。竹やぶがあり、坪田俊雄さん宅があった。北側踏切の道は、やっと人が通れるくらいの狭い九尺の農道で、六尺幅の所もあった。川口屋前の道だけが二間だった。当時は西久保から浜之郷へ出て鳥井戸橋の所から茅ヶ崎に行った。県道ができるまでは、細い野道や農道を歩いていった。

——学校生活は？
松林小学校の分教場が、新屋敷



昭和3年改築以前の諏訪神社 熊澤賢三さん提供

お話のあいまに明治からの貴重な資料を次々に見せていただき、整理のすばらしさに感服しました。まさに香川の生き字引きでいらっしやることを痛感しました。

これからも地域のために、教えて頂くことが多くあると思います。ますますお健やかでありますように。

さーくる紹介

リズムにのって楽しく 社交ダンス ベルバラ



三周年記念
ベルバラの人たち

真夏も間近にせまり不順な天候です。これを吹き飛ばさんばかりに、がんばっているサークルがあります。市内在住の平野三千代先生と、青木久子先生を中心、老若男女合わせて、約四十名で構成されている社交ダンスの会「ベルバラ」(ベルサイユのバラ)の略)です。香川公民館で、毎週金曜日の午後一時から四時半頃まで、レッスンをしています。

「元気で楽しく踊りましょう。」ということをもットにして、誰でもが踊れるように、親切丁寧に教えて下さる先生は、みなへの信望のまです。

軽快なリズムにのって身体を動かす運動が、健康によく、また頭の体操にもなることと思います。みなさん熱心なので、上達も早く、先生も「すごいわね」と感心されるほどです。

先日三周年記念パーティを開きました。全員でルンバを踊ったり、有志の方がワルツを踊り会員たちの絶賛をあげました。

休憩時間には、テーブルを囲んでお茶をいただきながら、今迄の体験や今後の抱負などを語りあったりして、楽しいひとときを過ごしています。

若い人とは違い、感も動作もにぶく、短時間ではありますが、心身共に張りつめています。

人と人のふれあい、そして親睦のためにも、ダンスは結構なことだと思えます。興味をお持ちの方は、ぜひ一度来てみてください。
(会長 大屋虎男)
☎(07)六七三二

図書館

だより

新刊書の紹介

- ◎作句のチャンス 鍵和田柚子著
- ◎自然流家庭菜園のつくり方 徳野雅仁著
- ◎パン工房(楽童)物語 松永 節著
- ◎生きる幸福老いる幸福 宇野 千代著
- ◎袋物のはなし 森南海子著
- ◎カレールーなる物語 吉田よし子著
- ◎ダイエツトってなんだろう 宮 淑子著
- ◎このひとにあいたい 藤田弓子著

藤村球子

夏霧の奥より鳥獣保護委員
この付近では丹沢・箱根などで見かける景と思うが、(霧(秋)ではなくて、夏霧としたところが効果をあげている。
降られる伊予には伊予の花菖蒲

長島久江

山の風川の風くる花の花
山からの、川からの風と言っているが、つまるところ、そこらへんの風ということ、平凡な花にふさわしい。
雨雲の濃くなる気配山法師

田辺美津枝

花菖蒲に替へし稽古場風抜ける
襖も葎戸に替え、冬の厚手の敷物もとり払って、すっかり夏の用意が出来た。蒸し暑い日本ならではのしきたりである。

俳句 茅花会

平塚司郎選

今は民間でも行われるが、夏服に着替えた学生たちの列に、ういういしさが感じられる。
ネクタイを今年も贈る父の日に

少年の総身締まる青葉潮
沓沢みや

季節のはな

七変化のはな

雨に濡れた紫陽花の花は、梅雨どきの暗さと重なって、華やかでありながら佗びしげで、何とも趣深い花である。白から淡緑、紫そして淡紅と花の色が変わってゆくさまは、人の心の移りゆくさまにも似て、一層趣深くしている。多くの歌人・俳人が好んで詠んだのもそんなところが胸を打つためであろうか。

あぢさゐの瓶にあふるる静けさに耐へつつをれば遠き風音

岡野弘彦

紫陽花の花おもしろくしておのづから傾く見ればやさしかりけり

松村英一

紫陽花の真夜の変化はわれ知らず

鈴木真砂女

あぢさゐが藍となりゆく夜来る如

橋本多佳子

佛法僧耳疑へば二度・三度

俗百合子

新茶飲みうなずくこのふえにけり

藤井謙昌

聴き入るに腰を据えたり行行子

河村ひろし

吹き降りの緑に見入る筆擱きて

青木貴子

紫陽花

色の変るのは、フラボン系の物質が変化するためと言われているが、実に神秘的である。
あぢさい・手毬花・四葩の花、七変化・八仙花・かたしろぐさ、刺繡花・瓊花など、こんなに多くの名のある花も珍らしい。
あぢ(集まる)さい(藍色)から、手毬花・四葩の花はその形態からの名であろう。七変化・八仙

花は、順に色の变化するさまからの名であろう。
あぢさゐの藍のつけけき花あり
ぬねばたまの夜あかねさす昼

ひと色は虹になき色濃紫陽花

色はつ前前の白い花に、雨上りの雨粒を光らせて陽に映えている様には、すがすがしさを感ずるが、何といつても濃紫陽花の美しさが最高だ。真っ青なもの、藍のもの、赤みを帯びた紫などいろいろあるが、どれをとつても熟年の屈折した心のひだの色に似ているように私には思えてならない。(H)

○花ことば「冷淡」、「うつり気」

あぢさいの花



あぢさいの花

訂正

前号で誤りがありましたので、次の通り訂正し、おわびします。

一面 第三町内会総務遊部篤は削除。衛生嘱託中静保男は、中静秀子の誤り。評議員副議長は、高橋猛のみ。

二面 一般会計報告は、一般会計予算の誤り。「体育振興会からの予算があるためだ。」は、「体育振興会助成金とわけたためだ。」の誤り。

四面 香蘭道場の稽古の時間の、午後10時は、午前10時の誤りでした。

あとがき

●第一一八号についてのご意見、ご質問やお叱り、お誉めの言葉などを、多くの方々からいただき、「広報かわ」に対する皆さんの関心の高さを知り、嬉しく思いました。今後の糧として内容の層の充実を計ってゆきたいと、委員一同思いを新たにしました次第です。「さーくる」は毎回一つ紹介しますが、自治会員の皆さんの声をお聞かせ下さい。原稿は担当者まで。
●紙面の都合上、主旨を変えずにけずったり、直したりすることがあります。

●一面担当は、石井、伊東

自治会の運営関係、主張など

二面担当は、井口、上総

各種の行事や情報、訃報など

三面担当は、河合、池田

香川の昔話、声、町内の情報等

四面担当は、裕、戸倉

俳句、さーくる紹介など文芸欄

●みなさんの身近な広報として、楽しみながら読んでいただけていますようにいたしたいと考えております。よろしくお願いたします。

(H)